

日本原子力学会 標準委員会
基盤応用・廃炉技術 放射線遮蔽分科会 遮蔽材料標準作業会
第 19 回 議事録

1. 日時：2017 年 12 月 7 日（木） 13：30～16：30

2. 場所：原子力学会 会議室

3. 出席者：（15 名：敬称略、順不同）

木村（主査、フジタ）、中田（副主査、MHI-NS-ENG）、奥野（幹事、安藤ハザマ）、坂本（ATOX）、西山（大成建設 谷口代理）、小迫（清水建設）、石川（CTC）、月山（日立）、和田（中部電力）、紺谷（鹿島建設）、前中（竹中工務店）、大石（日環研）、平尾（海技研）、吉岡（東芝）、尾方（MHI）

4. 配布資料：

SMA21-1 議事次第、10 月 13 日 遮蔽材料標準作業会 情報交換会 議事録、策定方法と付帯事項、基本方針（案）

SMA21-2 日本建築学会「原子力構造物維持管理小委員会」所属委員のコンクリート遮蔽標準策定に対する提案

5. 議事：

- ・本会合が定足数に達している事を確認した。

(1) SMA21-2 の提案について

- ・工程優先という進め方は改めることとなった。
- ・作業会や WG のあり方についても改めることとなった。
- ・現在、国土交通省の骨材統計データを用いた標準組成の検討が進められているが、この統計データにはコンクリート用以外の骨材が含まれている可能性が高いなど曖昧な点が多く、科学的な妥当性に乏しいと考えられることや、コンクリートの使用材料には地域性があるため、平均化すると大量消費地の影響を受けることから、標準組成の検討方法について再検討した方が良いのでは、という提案が出された。そのため、検討プロセスや原子力発電所と放射線施設との違いも含め、再度議論する事となった。
- ・SMA21-2 の提案に対し、書面で回答をまとめ、次回作業会で報告することとなった。

6. 次回：

未定